

令和7年度 水俣市立袋小学校グランドデザイン

全ての子どもたちが輝き、子どもたちの成長を共に喜び、学び続ける学校を目指して

- R7年度芦北教育事務所取組の方向
- 第1期水俣市教育振興基本計画
- 水俣市学校教育三つの努力目標

学校教育目標

夢に向かって挑戦し、自信と誇りをもつ子どもの育成
～子どもの自律性を高める教育活動を通して～

【校訓】
かしこく
なかよく
たくましく

育てたい力 子どもの姿

袋小学校の子どもたちに、育てたい3つの力（資質・能力）

考動力（気づいて動く心）

- 自分で考え行動する子ども
- 気づいて行動にうつす子ども
- 学ぶ楽しさを感じ進んで学ぶ子ども
- 自分の考えで見通しを立てられる子ども

共感力（思いやりの心）

- 自分と異なる多様な他者を尊重する子ども（みんな違って、みんないい）
- 他者の気持ちを慮り、受け入れられる子ども
- 相手のことを考え、自分から気持ちのよい挨拶ができる子ども

粘り強さ（あきらめない心）

- 様々な問題を諦めずに解決しようとする子ども
- 対話等を通して解決しようとする子ども
- 他者と共に最後まで取り組む子ども
- 苦手なことでも前向きにやる子ども

本年度の 具体的取組

そのために、重点的に力を入れること（指導の重点）

☆は芦水提言書関連取組

- ☆個に応じた指導、分かる喜び（1-①）
- ☆学習の見通しとめあてと整合したまとめや振り返り（2-②）
- 子どもの側から授業を構想
⇒導入の工夫、効果的な振り返り
- 子ども主体の児童会活動
⇒子どもの意見を反映する取組

- ☆学び合いと考えを深めるコーディネート（2-③）
- 協働的な学び⇒自己表現の場の工夫
- 仲間づくりによる話を聞く態度（学級づくりの視点）
- 自分ごととして考える道徳教育推進
⇒考え、議論する場面の設定

- ☆身に付くまで粘り強く指導（1-③）
- 基礎的・基本的事項の確実な定着
⇒チャレンジタイムの有効的な活用
⇒単元中の個に応じた指導の設定とその基礎基本の確認
- 学びに向かう学習規律の習慣化
- 授業とつながる家庭学習

○人権尊重の視点に立った学校経営・学級づくり・授業づくり

目指す 教職員の姿

職員が意識して取り組むこと（学び続ける教職員へ）

- チーム意識の高い集団へ
- 子ども一人一人の良さを引き出せる教師へ
- 子ども・保護者・地域から信頼される教師へ
- ⇒ ○学年部を中心としたまとまりと個同士のサポート
- ⇒ ○互いに学び合い、高め合い、成長し続ける雰囲気醸成
- ⇒ ○一人一人を「認め、ほめ、励まし、伸ばす」
- ⇒ ○個々の丁寧な見取りと僅かな成長を喜びに
- ⇒ ○子どもを中心とした視点で
- 一人一人の役割と活躍の場の提供